

戸張花 「内在 - Immanence」

2020 年 11 月 13 日（金） - 12 月 6 日（日）



Hana TOBARI 《EFFECT》Iron, 160 × 24 × 45 cm, 2017

この度 LOKO GALLERY では初となる、彫刻家 戸張花の個展「Immanence 内在」を 11 月 13 日より開催いたします。新進作家として注目を集める戸張は、2016 年多摩美術大学卒業制作優秀作品に「FORCE」が選出され、2018 年に同大学院 美術研究科 彫刻専攻を主席で修了。現在は埼玉県川口市にあるの共同アトリエで制作をしています。

彼女の彫刻は鉄製の棒を素材とし、可燃性ガスであるアセチレンガスと酸素を使用して 3000 度の炎で液状になるまで熱します。バーナーの火花を散らす中心で赤く発光し堆積する鉄のしずくは、油断をすると今にもしたたり落ちそうな緊張感を放ちます。鉄と作家の真剣勝負は数年の時を経て、その大きさは作家の身体を包み込むほどになり、重量は 400kg にもなります。

鉄は、溶ける、曲がる、歪む、錆びるという特性を持ちます。一見すると作家は自由に鉄を扱い、思いのままの造形を作り出すことが可能のように思えます。しかし彼女は鉄と格闘していくなかで、自身の表現を素材に押し付けようとせず、素材と作家との表現のせめぎ合いの中から生まれるかたちに強い関心を抱くようになりました。

今回の展覧会では大型の彫刻作品をはじめ、その制作過程で生まれた鉄粉を集めて制作したドローイング作品も展示いたします。彼女にとって、作品の大きさや形態は変われど、繰り返し行う細かい作業で作品を作り上げることは一貫しています。そこには、生命が誕生してから尽きるまで続く最小単位 of 生命現象を体現しているかのようです。

戸張花の彫刻から放たれる真っ直ぐなエネルギーが私達の潜在意識の中にある自然にどのような揺さぶりをかけるのか、目撃してください。

“

素材に触れ、対話し、自らの表現と素材との対等な関係性・兼ね合いの中で生まれる形。私はそれを彫刻と捉えます。

赤く熱した鉄の粒を、一つ一つ垂らし、いつしかできた形は、まるで生きているかのように変形し、時とともに朽ち、錆びていきます。鉄という素材が自然の巡りを内在していることを発見したときから、私が彫刻を作ることを意味、鉄を扱うことを意味、「もの」をつくることを意味を作品が私に示してくれている気がするのです。

戸張花 ”



作家経歴

1993 東京都出身

2018 多摩美術大学大学院 美術研究科 彫刻専攻 修了

個展

2017 多摩美術大学大学院彫刻専攻生優秀者選抜展 戸張花展 (ギャラリー K/ 東京)

グループ展

2019 磨。溶。繋。(ギャラリー K/ 東京)

2018 はるかな時のすきまで～巡る鉄の環～中村隆・金沢健一・戸張花 (イイナパーク川口 赤山自然歴史公園 / 埼玉)

2018 はるかな時のすきまで A plus viewing 02～ephemeral/eternal～ (旧田中家住宅 / 埼玉)

2017 八王子夢美エンナーレ入選作品展 (八王子夢美術館 / 東京)

2016 TAMABlselect-2- (多摩美術大学アートテークギャラリー / 東京)

2016 internal⇄external 森夕香・戸張花展 (LOKO GALLERY/ 東京)

2016 第 52 回神奈川県美術展入選・入賞作品展 (神奈川県民ホールギャラリー・厚木文化会館 / 神奈川)

2015 第 51 回神奈川県美術展入選作品展 (神奈川県民ホールギャラリー / 神奈川)

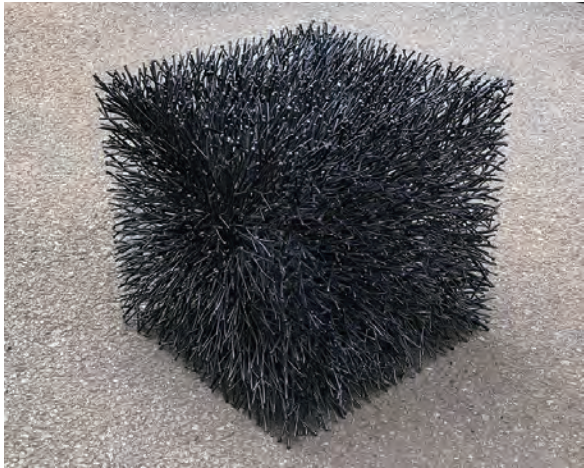
受賞

2017 八王子夢美エンナーレ 入選

2016 第 52 回神奈川県美術展 美術奨学会記念賞

2015 第 51 回神奈川県美術展 入選

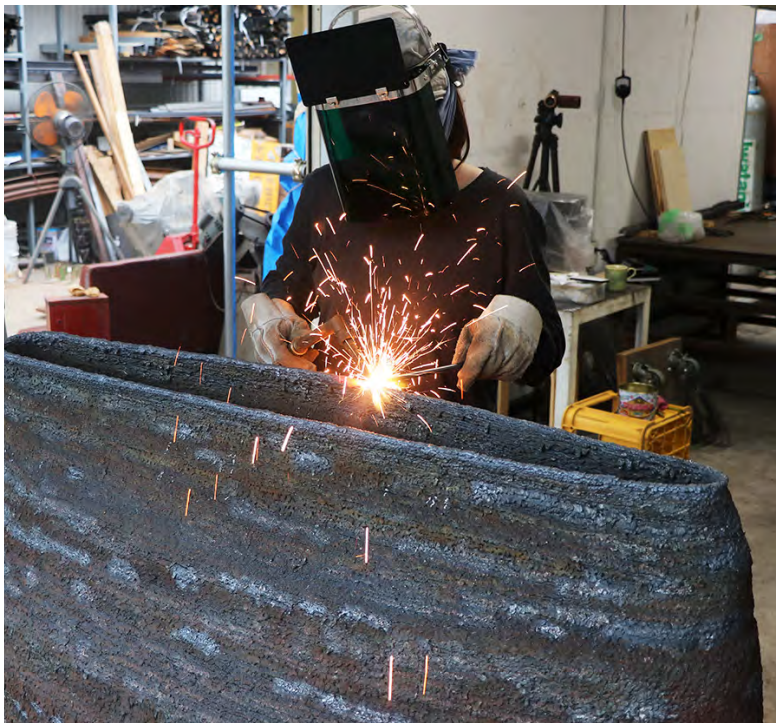
作品紹介



Hana TOBARI 《MATERIAL》
Iron, 30 × 30 × 30 cm, 2020



Hana TOBARI 《edge》
Iron, 70 × 70 × 15 cm, 2017



Hana TOBARI is working in progress.

本企画展のお問合せは下記までお願いいたします。

LOKO GALLERY

〒150-0032 東京都 渋谷区 鶯谷町 12-6

TEL: 03 6455 1376 MAIL: info@lokogallery.com

営業時間: 水 - 土 11:00-19:00、日 12:00-18:00 定休日: 月・火・祝